

# 第1次米子市環境基本計画の総括について

(最終：令和3年3月末現在)

○以下の総括は、第2次米子市環境基本計画に掲載した「第1次米子市環境基本計画の総括」を第1次米子市環境基本計画の計画期間（平成23年度～令和2年度）の最終年度である令和2年度末（令和3年3月末）の取組結果を踏まえ修正したものです。

進捗状況調査時点	関係する計画	計画期間
令和3年3月末	第1次米子市環境基本計画	平成23年度～令和2年度
令和3年9月末	第2次米子市環境基本計画	令和3年度～令和12年度

○各施策の取組結果は、「米子市の環境（令和3年度版）」のP23～P36をご覧ください。

※令和元年10月末時点からの修正箇所は赤字で記載しています。

◎：達成 ○：未達成 □：取組状況等

基本目標	施策等の成果（評価）
【1】地球環境に配慮した循環型のまちづくり （地球環境の目標） 《循環》	◎市内全域から排出する二酸化炭素（CO <sub>2</sub> ）の排出量（ <u>1,039千トン</u> ） 目標値（1,420千トン以下）を達成した。（平成30年度末時点）
	◎市有施設からの二酸化炭素（CO <sub>2</sub> ）の排出量（ <u>14,611t</u> ） 目標値（23,365t以下）を大幅に達成した。（令和元年度末時点）
	○再生可能エネルギー導入の取組（ <u>17,326kw</u> ） 住宅用太陽光発電導入推進補助金による導入支援を行い、再生可能エネルギー導入推進に努めた。市内の太陽光発電システムの需給電力量の目標値（ <u>16,200kw以上</u> ）を達成した。（令和2年度末時点）
	◎1人1日当たりのごみ排出量（ <u>905g</u> ） 目標値（980g以下）を大幅に達成した。（令和2年度末時点）
	○リサイクル率（ <u>16.1%</u> ） 目標値（17.7%）を下回った。新たに、小型家電リサイクルに取り組んだほか、米子市クリーンセンターから発生する主灰・飛灰のセメント原料化を行ったものの、古紙類の収集量が、流通量の減少や民間の資源引取拠点の増加により5年間でほぼ半減したことにより、全体ではリサイクル率の低下につながった要因と考える。小型家電リサイクルの活用啓発などにより、リサイクル率の低下を最小限にとどめるよう努めていく必要がある。（令和2年度末時点）

	<p><u>◎ごみの発生量に対する最終処分率（4.0%）</u></p> <p>目標値（5.7%以下）を達成した。米子市クリーンセンターの灰溶融設備休止に伴う主灰・飛灰のセメント原料化により、ダスト固化物が減少したことにより最終処分量の減少につながっている。（令和2年度末時点）</p> <p><u>□米子市クリーンセンターの基幹的設備改良工事の実施</u></p> <p>同工事の実施により、施設の延命化を図るとともに、米子市クリーンセンターから排出される二酸化炭素排出量を削減した。また、灰の排出設備の改造を行い、主灰・飛灰のセメント原料化を実施した。</p>
<p>【2】健康で安心して暮らせるまちづくり（生活環境の目標）      ≪安心≫</p>	<p><u>◎市役所におけるグリーン購入実績</u></p> <p>市役所各部署に対し周知啓発に取り組み、令和2年度末で目標値（100%）に対し、99.9%を達成した。</p> <p><u>○空気のきれいさに対する満足度（86.5%）</u></p> <p>平成27年度調査（80.2%）から約6%上昇したものの、目標値（90%以上）には未達成である。（令和元年度実施アンケート結果）</p> <p><u>○大気の汚染に係る環境基準の達成</u></p> <p>光化学オキシダント以外は達成した。なお、光化学オキシダントについては、環境基準が厳しいことから全国的にも未達成の状況である。      （平成30年度末時点）</p> <p><u>○水のきれいさに対する満足度（70.4%）</u></p> <p>目標値（80%以上）には未達成である。（令和元年度実施アンケート結果）</p> <p><u>○中海の水質</u></p> <p>「中海に係る湖沼水質保全計画」の目標値を達成している範囲は広がりつつあるが、環境基準値は未達成である。赤潮の発生状況は、5年前と比べると非常に減少しており、平成30年（2018年）の発生状況はほとんどない。      （環境基準値：令和元年度時点）</p> <p><u>◎水洗化戸数率（90.1%）</u></p> <p>「中海に係る湖沼水質保全計画」、「米子市生活排水対策推進計画」に基づき水質浄化対策を推進し、下水道管きょ整備量の増加及び合併処理浄化槽補助制度の拡大を図り、目標値（88.8%以上）を達成した。      （令和2年度末時点）</p> <p><u>□公害関係の苦情件数</u></p> <p>年度によってばらつきはあるが、特に、大気（野焼き）と悪臭の割合が高い傾向である。</p>

	<p><u>□又カカによる被害</u> 弓ヶ浜地域で問題となっている「又カカによる被害」は、調査研究を経て令和元年度に彦名地区においてモデル事業を行い、対策の検証や今後の対応について検討を進めている。</p> <p><u>□環境放射線の量</u> 小学校や公民館等に設置したモニタリングポストのデータ公開を実施した。</p>
<p>【3】豊かな自然と調和したまちづくり (自然環境の目標) 《共生》</p>	<p><u>□森林の整備・保全</u> 地域の状況に応じた松くい虫防除事業を実施した。</p> <p><u>□農地の保全と活用</u> 農家の規模拡大を促進する取組として、認定農業者へ助成金を交付し、農家の規模拡大を図った。</p> <p><u>□食物の地産地消</u> 学校給食への地場農畜産物の使用に努め、魚介類、豆類の使用比率は100%である。それ以外については、納入業者にできる限り県内産を求めているが、全ての量が確保できないこともあり、全体として鳥取県内食材の使用比率は66%となっている。(令和2年末時点)</p> <p><u>○中海の湿地環境の保全・再生と賢明な利用</u> 米子水鳥公園を活用した取組を実施しており、令和元年度には、ネイチャーセンター入館者数は22,830人まで増加したが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により令和2年度には、16,415人にまで減少した。(令和2年度末時点)</p> <p><u>□生物多様性の確保の取組</u> 生物多様性の保全や重要性について、ポスターやリーフレットを小学校へ配布し啓発に努めたほか、米子水鳥公園において、貴重な動植物の保全及び環境学習を実施した。</p>
<p>【4】環境資源を活かしたまちづくり (快適環境の目標) 《快適》</p>	<p><u>□適正な土地利用の推進</u> 米子市都市計画マスタープランに基づき、効率的で計画的な土地利用を推進しており、令和元年(2019年)6月に同計画を改定し効率的で計画的な土地利用の推進を図った。</p> <p><u>□文化財の保全と活用</u> 史跡などで保存・活用を妨げている箇所や、異常、危険箇所の把握に努め、除草や危険木の除去などの維持管理を実施した。</p>

	<p><u>□米子城跡</u> 市民ボランティアによる石垣除草などを実施し、景観づくりに努めた。</p> <p><u>□危険家屋対策の推進</u> 空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するための米子市空家等対策計画を平成31年（2019年）3月に策定し推進を図った。</p>
<p>【5】みんなが環境を考えるまちづくり （環境意識の目標） 《協働》</p>	<p><u>□環境学習の推進の取組</u> 小学生が米子水鳥公園で環境学習を行う機会を提供するため、交通費を負担する事業を実施し、年々利用校（令和元年度実績 18校/23校）が増加している。また、放課後児童クラブ、放課後デイサービス利用者、老人会等に対する環境学習を実施し、推進を図った。</p> <p><u>○環境学習</u> 米子水鳥公園を利用した市内小学生の人数（令和元年度実績 1,130人）は、年々増えているが、目標値（1,300人）には未達成である。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により559人に減少した。 （令和2年度末時点）</p> <p><u>□環境学習施設の整備</u> 学校の大規模改修の際に、積極的に省エネ設備の導入に努めた。また、市内小中学校全ての普通教室に省エネタイプの空調設備を整備し、学習環境の充実を図った。</p> <p><u>□環境意識の普及啓発活動</u> NPO法人、鳥取県と共催し、「中海環境フェア in よなご」を実施し、啓発活動に取り組んだ。</p> <p><u>□環境美化活動</u> 米子市環境をよくする会と連携して、市内一斉清掃を年2回（春・秋）継続して実施しており、市民に定着してきている。また、周辺自治体と連携し、環境保全活動として「ラムサール条約登録湿地中海・宍道湖一斉清掃」を継続して実施しており、毎回約1,000人の参加者で清掃活動を行った。</p>